

【新刊案内】

固定概念からの離脱！「個別介入」から「リハマネジメント」へ 生活機能向上連携のあり方と課題を考える

～「訪問リハビリテーション」10-02 6月15日発売～

株式会社 gene (本社：愛知県名古屋市、代表取締役：張本 浩平、以下 gene)
は、国内唯一の訪問リハビリテーション専門誌『訪問リハビリテーション』
10-02 号を 2020 年 6 月 15 日より発売いたします。



■特集：「生活機能向上のための連携」

平成 30 年度の改正により、セラピストによるクライアントの評価とプログラムの立案というマネジメント部分に私たちの必要性を取り込まれました。しかし、その制度の中では、まだまだ個別的な介入から抜け出せない現場とその必要性に感じ取りにくい管理的な立場もあり、なかなかその制度の活用がされていないのが現状です。

そこで、この現状を踏まえ、これから必要とされる私たち自身のスキルと活用方法として、現場での取り組み、そして、どのような連携をとっていくことが望ましいのかを課題も含めて、この号では考えてみたいと思います。

■目次

【特集】

○リハビリテーション専門職に求められる新たな職域

～生活機能向上連携加算の変遷と実際～

尼崎医療生活協同組合 潮江診療所 理学療法士

近沢 秀夫

○小児分野における療法士の役割と地域連携

株式会社メディケア・リハビリ こども療育事業 PARC

理学療法士・保育士

亀澤 康明

○通所サービスにおける生活機能向上への取り組み

～事業所開設における反省と大切にしていける理念～

中央会リハビリデイサービスひびき

作業療法士

兼田 葵

○専門職として、市民や他職種に対する啓蒙活動や啓発活動

作業療法士

金剛丸 朋子

○これからの連携を考える

～固定観念からの脱出・新しい時代へ～

社会医療法人 中央会 介護老人保健施設 ローランド 訪問リハビリ

理学療法士

桑山 浩明

【連載】

○ご存知ですか？行政にいるリハ専門職のこと～連携の一丁目一番地～②

「政策形成編」

東広島市議会議員

作業療法士 広島大学客員准教授

認知症介護指導者

牛尾 容子

【特別連載】

自立支援型地域ケア会議での生活支援記録法（F-SOAIP）の活用に向けた作業療法士の実践

～メゾからマクロレベル（自治体や関係団体）までの取り組み～

株式会社ベルツ 在宅リハビリテーションセンター草加

訪問看護部 リハビリ課 作業療法士

高橋 暢介

埼玉県立大学准教授

鳶末 憲子

国際医療福祉大学 教授

小嶋 章吾

【特別寄稿】

○生活行為向上マネジメントを活用した在宅支援によって介護保険サービス費を軽減できた事例

～通院・通所への移動手段拡大を目指して～

ケアーズ訪問看護リハビリステーション野田町

（現所属：あぶくま訪問看護ステーション）

佐藤 祐樹

【症例報告】

○失語症および視覚性注意障害を伴う観念失行患者に対する介入

ちゅうざん病院 沖縄ちゅうざん臨床研究センター

修士 理学療法士

佐藤 圭祐

大阪保健医療大学大学院保健医療学研究科

医学博士 理学療法士

石倉 隆

ちゅうざん病院 リハビリテーション科

医学博士 医師

尾川 貴洋

ちゅうざん病院 リハビリテーション科

医学博士 医師

末永 正機

■「訪問リハビリテーション」について

本誌は、専門職としての視点でセラピストがしっかりと訪問リハビリテーションを考えるきっかけを提供すると共に、臨床で活躍する先人の知恵や実例を紹介し、学術的な問題にも着目する、我が国唯一の訪問リハビリテーション専門誌です。

【本書概要】

- タイトル：訪問リハビリテーション 10-02
- 発行元：株式会社 gene
- 価格：¥2,000 (税込)
- 年間購読価格：¥12,000 (税込) 年 6 冊 偶数月発行
- 判型・ページ数：B5 判・92P
- ISBN：978-4-905241-70-6

■今後の展開

「COVID-19 をふまえた感染症予防と訪問リハビリテーション」

新型コロナウイルスの感染が全国に広がり、感染者数は 2020 年 5 月 24 日時点で 16,550 例¹⁾ に上り、全国的な感染の広がりがみられました。利用者様の多くは高齢者である訪問リハビリテーション事業所において、感染症予防対策を構築し、利用者の不安を減らし安全な運営が必須となります。

そこで、「訪問リハビリテーション」では、10-03 号を特別企画号とし、改めて訪問における感染予防対策の知識から、非常時の事業所の運営管理方法をお伝えし、また現場でどのような感染予防対策を講じているのか実際の取り組みとともに紹介します。在宅を支える今後の訪問リハビリテーションのあり方を再考するきっかけとしたいと思います。

1)新型コロナウイルス感染症について/ 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html (令和 2 年 5 月 25 日閲覧)

■会社概要

商号：株式会社 gene
代表者：代表取締役 張本 浩平
所在地：〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵 1 丁目 26 番 12 号
IKKO 新栄ビル 6 階
設立：平成 19 年 1 月 31 日
事業内容：コメディカルスタッフ対象のセミナー企画・運営／出版事業／事務局代行事業・貸会議室事業／介護保険事業（訪問看護ステーション・デイサービス運営）
資本金：1,000 万円
URL： <https://www.gene-llc.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

企業名：株式会社 gene
担当者名：出版事業部門 出版・制作チーム
TEL：052-325-6611
mail： publisher@gene-llc.jp